

北海道浮魚ニュース

平成24(2012)年度4号

2012年 6月 18日

北海道立総合研究機構水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

スルメイカ漁場一斉調査結果(道南太平洋)

調査期間中、スルメイカの漁獲は見られず、太平洋側のスルメイカ北上群は道南太平洋にはまだ来遊していないと思われる。

調査船北辰丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。なお、同じ航海中に行われた釧路水試分の調査結果については浮魚ニュース第5号を参照下さい。

- ・調査期間：2012年6月6日～9日(釧路水試調査と連続)
- ・調査海域：道南太平洋
- ・調査船：北辰丸(216t、イカ釣機6台装備)

1. 水温分布

今年と昨年水温分布及び漁獲調査の結果を、図1及び図2に示しました。

漁獲調査点3点の表面水温は浦河沖 St.15 で昨年を下回り、木直沖 St.1 と下北半島東沖 St.8 ではほぼ昨年並みの値でした。同じく漁獲調査点3点の50m水深の水温は、St.8 と St.15 で昨年をやや上回り、St.1 では昨年の大きく下回りました。図中に等温線を示した海域全体の50m水深の水温は、室蘭沖から木直沖にかけて昨年に比べ低水温の海域が見られた一方、昨年浦河周辺に見られた低水温の海域は認められませんでした。

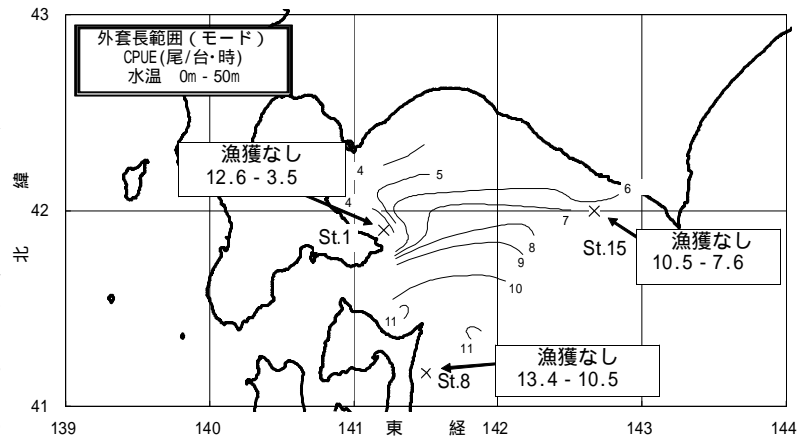


図1 2012年度の漁獲調査結果と水温(6月6～9日)

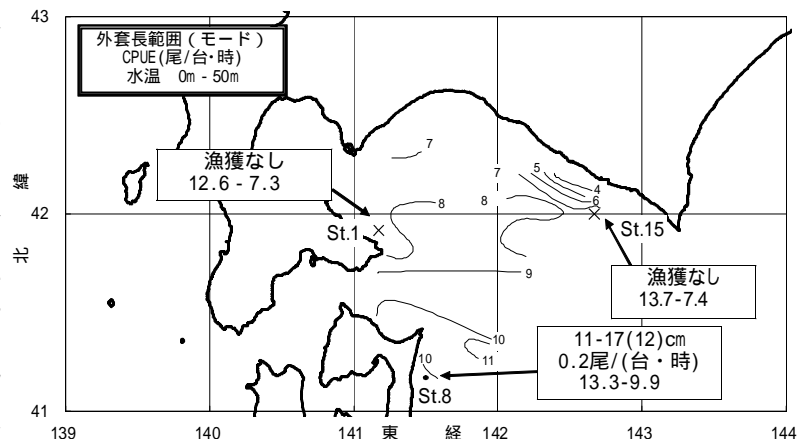


図2 2011年度の漁獲調査結果と水温(6月14～17日)

は漁獲調査点を示し面積はCPUEに比例。×は漁獲なし。等温線は50m水深の水温分布

表1 スルメイカ漁場一斉調査（道南太平洋6月）のCPUEと外套長の経年変化

2010年より調査船及び調査日程を変更

	2003 6/23-27	2004 6/21-25	2005 6/20-24	2006 6/19-23	2007 6/25-29	2008 6/26-30	2009 6/24-26	2010 6/14-17	2011 6/14-17	2012 6/6-9
CPUE(尾/台・時間)										
St.1(木直沖)	2.2	4.3	0.1	0	10.5	62.0	0	0.03	0	0
St.8(下北半島東沖)	1.3	-	0	0.1	4.5	17.7	23.8	0.34	0.2	0
St.15(浦河沖)	10.2	16.9	0	0	18.1	0	-	0	0	0
St.16(函館沖)	-	-	3.9	6.1	24.2	3.6	-			
旧調査点4点平均CPUE	4.6	10.6	1.0	1.6	14.3	20.8	11.9	0.13	0.07	0
St.1, 8, 15平均CPUE	4.6	10.6	0.03	0.03	11.0	26.6	11.9	0.13	0.07	0
外套長の範囲(cm)	10-20	13-21	12-17	12-17	10-21	11-18	15-21	8-12	11-17	-
外套長E-D範囲(cm)	14-17	18	14	15	16-17	14-15	18	8,11	12	-

2. 分布密度

2003年から2012年までの10年間の調査点別CPUE（2連式イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）を表1に示しました。なお、2010年以降の北辰丸による調査は、2002～2009年の金星丸による調査に比べ1～2週間早い時期に行われています。

今回の漁獲調査点3点ではいずれも漁獲がなく、太平洋側のスルメイカ北上群は道南太平洋にはまだ来遊していないと思われます。これは、今回の調査時期が例年に比べ早かったことも影響していると考えられます。

（文責：函館水産試験場調査研究部、TEL：0138-57-6056 直通、FAX：0138-57-5991）